



2020年3月8日

東日本大震災から9年を覚えての 私たちの祈り

3月11日で東日本大震災から9年を迎えようとしています。あの日から今日までの日々を思い、今、私たちが向きあっている病のひろがりの前にして、神さまに向かい、心を合わせ、声を合わせて祈ります。

私たちの父として、守ってくださる神さま

あの大きな地震と津波の出来事から9年を迎えようとしています。どれほどの時間が流れても、消えることのない悲しみを、忘れることのない痛みを、言いようのないさびしさを、持って行き場のないつらさを抱えて生きる人々がいます。どうか今、私たちの父として、大きな愛の御手の中に握りしめ、守ってください。

今、私たちの生きる世界は、大きな病のひろがりの前にして、恐れと不安、動揺の中にあります。どうか今、私たちの父として、この世界を守ってください。私たちをかえりみてください。病んでいる人々を癒やしてください。年老いた者、幼い者、弱さの中にある者たちを守ってください。

私たちの友となって、共にいてくださるイエスさま

震災から9年がたった今、町の装いは新しくなり、風景は一変し、新しい生活を始める人々がいる一方で、四万七千人以上の人々が避難生活を送っています。原発事故の影響のもとにある人々がいます。

愛する者を探し続けている行方不明者の家族がいます。生きる望みを失いそうになっている人々、孤独の中にうずくまっている人々がいます。どうか今、私たちの友となられたあなたの愛を示し、私たちと共にいてください。

今、新たな事態を前にして、私たちの間にさまざまな隔たりがうまれようとしています。恐れからくる言葉や振る舞いで隣り人を遠ざけ、傷つけようとしています。どうか今、私たちの友となってくださったあなたが私

たちと共にいてくださり、私たちに隣り人への愛と理解、忍耐と寛容の心を与えてください。あなたの十字架のもとで、私たちを互いに愛し合い、受け入れ合う者としてください。

私たちの慰め主となって、内にいてくださる聖霊の神さま

あなたが父なる神さまと御子イエス・キリストから遣わされたように、あなたによって遣わされた教会が今も東北の各地で生きて働いています。慰めの福音が教会を通して届けられていることを感謝します。どうか今、私たちをあなたの慰めを届ける者として遣わしてください。あなたが私たちの内に住んでいてくださるように、私たちも人々の交わりの中にあって、福音の慰めを証しする者として用いてください。今、私たちの世界も、私たちの教会も、私たちの家族も、私自身も恐れの中で、不安の中で、心配の中で、確かな慰めを必要としています。ともにうめいてくださる慰め主を必要としています。どうか今、私たちとともに、私たちの内にいてください。生きるにも死ぬにも、ただ一つの慰めであるキリストに私たちを結び合わせてください。

父、子、聖霊なる神さま

この世界にあなたの助けと癒やしを与えてください。為政者(いせいしゃ)たちの上に、行政の責任を負う人々の上に、医療や福祉、教育など、さまざまな働きを担う人々に知恵と力を与えてください。教会の交わりを祝福してください。日本と世界の主の名による集いを、あなたに向かってささげられている礼拝を祝福してください。心を高くあげて、あなたにある希望を告白する者とならせてください。主イエス・キリスト御名によって祈ります。アーメン。

徳丸町キリスト教会 朝岡勝牧師

イエスさまとの歩み

- ・1日日曜日、礼拝後、チャーチリトリートファンドレーズ
- ・3日火曜日、ルルレアが行われました。
- ・4日水曜日、水曜集会、JOD、Bible Tea Timeが持たれました。
- ・7日木曜日、ソーイング、まきばが行われました。
- ・6日～7日、中尾牧師夫妻は、サンルイスオビスポにて、ベッサニー教会リトリートのご奉仕をされました。